

■ 多くの方々にご来場頂ける林業試験場に

林業試験場では、日々の試験研究だけでなく、森林・林業関係者の多様なご要望に応え、地域の身近な試験場として多くの方々にご来場を頂けるように努めています。

研究成果の発表や研修会、技術相談の対応や現地での技術指導、農林業大学での講義や公開講座、地域の子供達への学習支援など今年度の主な取り組みを紹介いたします。

○平成29年度森林・林業おもしろ講座（8/10）

夏休みの施設開放の一貫として、地域の子供達を対象に「木の葉の標本を作ろう！」を開催し 28名の参加を得ました。

標本づくりを通じて、森林や林業の役割についても理解を深めて頂きました。（坂口）



木の葉の標本作り

○平成29年度病害虫研修会（11/2）

新たな病害虫の発生や拡大に適切に対応するため、行政や森林組合の担当者等を対象とした研修会を、林業振興課・森林整備課と連携し実施しました。

①森林総合研究所の衣浦晴生氏により、カシノナガキクイムシと今年度和歌山県への侵入が確認されたクビアカツヤカミキリの最新情報を盛り込んだ解説がなされました。



衣浦氏の講演

②本県で被害が深刻なスギノアカネトラカミキリと防除事業が継続している松くい虫について法眼主査研究員、松くい虫に対する抵抗性マツの選抜および育種について竹内研究員が説明を行いました。



パネル等の展示状況

③特用林産物の病害虫について、坂本主任研究員からサカキ・シキミ・コウヤマキ等に新たに発生した原因不明の病害虫の被害状況等について説明を行いました。（坂本・法眼・竹内）

■ 経営環境部

○東北農業試験研究推進会議果樹推進部および寒冷地果樹研究会（8/22～23）

東北地方でも鳥獣害の増加に伴い、対策に関する試験研究を立ち上げる機運が高まっています。今回、依頼を受け山形県で開催された本会にて、和歌山県の獣害に対する取り組みについて講演を行い、熱心に聴講頂きました。（法眼）



現地検討会の様子

○シカ捕獲試験

今年度から森林防護柵を利用したシカの誘導捕獲の試験に取り組んでいます。柵沿いで、エサ（ヘイキューブ）と倒木等を用いてシカをくくりわなに誘引誘導する手法です。狩猟経験のない私でも延べ30日で10頭捕獲でき、2頭を機材トラブルで逃がしたので、実質12頭捕獲できたと考えられました。（山下）

○「紀州備長炭指導製炭士」意見交換会（10/5）

ウバメガシの萌芽性に関するこれまでの研究成果、みなべ町東本庄の択伐モデル林の調査結果（日高振興局林務課と共同調査）、カシノナガキクイムシの分布拡大状況について情報提供を行いました。（山下）

○林業種苗生産事業者講習会（10/18）

林業種苗（スギ・ヒノキ・マツなどの苗木や種子）を生産、販売するためには本講習を受講し、生産事業者登録を行う必要があります。



講習会の様子

平成29年度は10名の生産希望者が参加し、林業種苗生産に係る法的な規則や生産技術について講義を行ったほか、実際に種苗生産の現場を見学しました。（竹内）



中辺路試験地の見学

■ 木材利用部

○木材乾燥研修会 (4/28)

紀州有田商工会議所工業部会主催の研修会が有田川木材協同組合清水木材加工所で開催され、林業試験場から「広葉樹材の太陽熱利用木材乾燥」について講演を行いました。研修会参加者から講演内容について多くの質問等があり、活発な意見交換が行われました。(浪口)



○紀州材に関する研修会 (8/18)

田辺・西牟婁社会科教育研究会(小学校教諭)主催の「田辺・西牟婁社会科教育夏季研修会」が田辺市立新庄小学校で開催され、「魅力いっぱい 紀州の林業」について講演しました。紀州材の「強さ」「美しさ」といった優れた特徴について解説し紀州材のよさをPRできました。(井戸)



■ 特用林産部

○イタドリ of 植栽と獣害対策研修会 (6/16)

H高川町において「イタドリ部会」を対象に現地研修を行いました。植栽方法については、黒マルチの除草省力効果や生長促進効果を、獣害対策については比較的安価なワイヤーメッシュや防鳥ネットを使った柵の設置方法について説明を行いました。研修した方法により日高川町で新たな栽培地約10aが設置されました。(杉木)



○農林業大学 第1回公開講座 (7/8)

林業研修部の公開講座として「特用林産物栽培・活用講座」の講師を務めました。「活かそう!木の国 山の恵み～山菜・きのこ・花木など～」をテーマに、森林には木材以外にも山菜、きのこ、花木など「山の恵み」と称される特用林産物が沢山あり、かつては薪、木炭、シュロ、ハゼの実、コウゾなどが生活必需品の原材料として盛んに生産されていたこと。

そのほとんどは身近な里山から採取されてい

たが、燃料革命以降は利用されなくなり、特用林産物が生育しにくい環境となっていること。

活用方法を知れば里山は「宝の山」となり、循環利用することで明るく豊かな山として活用できることを説明しました。参加者は42名と多く、関心の高さが伺えました。(坂口)



○サカキの新芽・新葉等の新たな病害虫

最近、特にサカキの新芽・新葉等を加害する新たな病害虫が県内を問わず発生しています。



①枝枯れ症状(原因不明)



②穿孔性病害(原因不明)



③白点(オビヒメコバエ族の一種による吸汁被害) 体長約4mm



特にこの3種類については生長阻害・商品価値の低下を招くため、来年度、基礎研究等で調査予定です。現場で確認した際は当試験場又は最寄りの林務課までご一報下さい。(坂本)

■ 最近のトピックス

○翔龍祭(龍神林業まつり) (11/18~19)

今年も龍神林業まつりに出展し、大勢の来場者にシカ等の捕獲技術、コンテナ苗、松くい虫対策、サカキの病害虫、イタドリの栽培技術について研究成果を説明しました。

特にイタドリ茶(花のお茶)の試飲や顕微鏡での生きたマツノザイセンチュウの観察は好評でした。(池田)



イタドリ茶の試飲



マツノザイセンチュウの観察

編集・発行 和歌山県林業試験場

〒649-2103 西牟婁郡上富田町生馬1504-1

TEL: 0739-47-2468 FAX: 0739-47-4116

※『やまびこ通信』は「和歌山県林業試験場のホームページ」にもアップしています。